

こんにちは！久留米市御井町の house plus+でございます！各地で梅雨入りする季節、だんだんと夏に近づくにつれ、湿気対策が必要になってきました。この時期、家の中のジメジメ感を感じられることも増えてきます。また、最近の雨の降り方は、「ゲリラ豪雨」との言葉通り、いわゆるバケツをひっくり返したような激しい雨に見舞われることもあります。こんな時、今まで大丈夫だったお家でも、雨漏りが発生したり、屋根や外壁にお困りごとが起こる可能性があります。ご心配ごとはどうぞお気軽にご相談下さい！

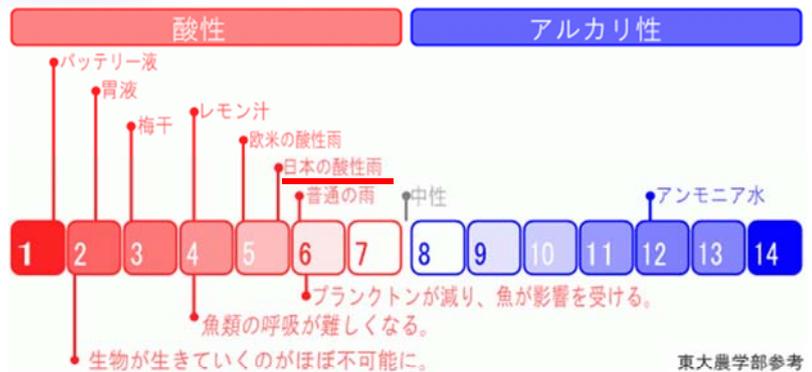


工事の工程は、お天気に左右されることが多いです。外壁の塗装や左官工事や雨漏りの屋根修理、家の中でも塗装工事などは、日程をずらすことが多くなり、雨の時期の建設会社は、毎日刻一刻と変わる天気予報にとらめっこする毎日です。塗装工事や左官工事では、『塗る→乾かす→再度塗る』という工程を踏むことが多いため、きちんと乾かさないと、次の工程に進めなかったり、無理して進めるとムラが出て、美しく仕上げることができなくなってしまいます。余裕をもって工事をすすめることが必要となります。また、最近の雨は「光化学物質」を含む「酸性雨」。雨漏りだけでなく、雨の影響で家が劣化する例として、酸性雨が建物に降り注ぐことによりコンクリートの溶け出しや、錆びや変色の原因となることもあります。



酸性雨：Ph5.6 以下の雨を酸性雨と呼びます。人の産業活動により放出された排気ガスは、大気中で変化してイオウ酸化物やチッソ酸化物という酸性の物質になります。この物質が、雲を作っている水滴にとけこんで、雨や雪や霧として降ってきます。このときに酸性の物質がたくさん溶け込んでいると、雨や雪や霧は強い酸性を示すこととなります。（★雨にとけこむと”酸性雨”★霧にとけこむと”酸性霧”★雪にとけこむと”酸性雪”）

普段、降っている雨も、実は酸性（弱酸性）です。人間の肌も弱酸性。ただし酸の値が高くなると、農作物などだけでなく建造物にも影響が出るのです。コンクリートの割れ目などから酸性雨がしみ込むとコンクリートの成分のカルシウムが溶け出してきます。それが、固まって、白いスジのようになってたり、つららのような白い固まりができてたりします。大理石の床や彫刻、そして銅の屋根も溶けるという影響もでています。



注：梅干はアルカリ性食品ですが、表面のPH値を調べると有機酸であるクエン酸が反応して酸性を示します。「〇〇性食品」という考え方は、体内で、消化された食物が、血中で及ぼす影響を指し、有機酸は消化の過程で尿などとして排出される為、食品としてはアルカリ性食品となります。